

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
米子市第二学校給食センター(仮称)

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
C 建築物の環境品質								3.0	
Q1 室内環境								3.6	
1 音環境								3.4	
1.1 騒音	給湯設備の熱源機器に防音パネルを設置	4.0	0.15						
1 1 騒音レベル		4.0	0.40						
		4.0	1.00						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		3.0	0.20						
2 温熱環境			3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御	給湯設備の熱源機器に防音パネルを設置	3.0	0.50						
1 1 室温設定		3.0	0.38						
3 3 外皮性能		3.0	0.25						
4 4 ソーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		3.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境			3.8	0.25					3.8
3.1 昼光利用		部屋毎にリモコン制御							
1 1 昼光率									
2 2 方位別開口									
3 3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
2 2 昼光制御									
3.3 照度									
1 1 照度	2.0		1.00						
3.4 照明制御	5.0		0.63						
4 空気環境			4.5	0.25					4.5
4.1 発生源対策	全て屋内は規制対象外の建材を使用する	5.0	0.50						
1 1 化学汚染物質		5.0	1.00						
4.2 換気									
1 1 換気量		4.0	0.30						
2 2 自然換気性能		3.0	0.33						
3 3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.33						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 2 喫煙の制御		5.0	0.50						
敷地内は禁煙									
Q2 サービス性能								3.4	
1 機能性								3.2	
1.1 機能性・使いやすさ	執務・業務スペース 天井高≥2,700以上確保 敷地内は禁煙、休憩室(和室)を整備	3.2	0.40						
1 1 広さ・収納性		3.0	0.60						
2 2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33						
3 3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40						
1 1 広さ感・景観		4.0	0.33						
2 2 リフレッシュスペース		4.0	0.33						
3 3 内装計画		3.0	0.33						
1.3 維持管理									
1 1 維持管理に配慮した設計									
2 2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31					3.5	
2.1 耐震・免震	災害時に吹き出し等が可能なように重要度係数を1.25に設定	3.8	0.48						
1 1 耐震性		4.0	0.80						
2 2 免震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33						
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23						
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23						
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.09						
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08						
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.15						
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23						
	メンテナンス性に優れ、かつ耐久性の高い材料を使用								
	冷媒、給水、給湯、排水管等にC(30年以上)のものを使用								

2.4 信頼性			3.4	0.19		-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用し、配管系統を区分し災害時に使用不能箇所を	4.0	0.20		-	-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAを採用	4.0	0.20		-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29		-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	-	
1	階高のゆとり	厨房機器更新時の搬出入に対応	5.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ	両方向ラーメン構造とし、将来の空間可変に対応した	5.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.38		-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.17		-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	0.40		-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制						-	-	-
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29		-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト、ハイサイドライトの設置	4.0	0.50		-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	ソーラーパネルの設置	4.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.0	0.43		-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.29		-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
1.1	節水	節水型機器を使用	4.0	0.40		-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤利用、木毛系セメント板、ウッドチップ舗装材	5.0	0.21		-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22		-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	内装材、下地材にVOCを含まない材料を使用	5.0	0.32		-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	断熱材	ODP=0、GWP<5の発泡ウレタンフォーム断熱材を使用	5.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33		-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33		-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	全電化施設とし、燃焼機器はなし	5.0	0.25		-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場を設置し、適切な駐車スペースを確保した	5.0	0.33		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.3	0.33		-	-	2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	0.50		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		3.0	0.50		-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	